

学校（コミュニティ・スクール）

学校運営協議会

「コミュニティ・スクール」とは、「学校運営協議会」を設置した学校のこと。学校運営協議会では、教育委員会により任命された委員が一定の権限をもって、学校の運営とそのために必要な支援について合議制により協議します。

目標・ビジョン

- <学校運営協議会委員（例）>
- ・自治会代表 ・公民館代表
- ・保護者代表 ・おやじの会代表
- ・地域学校協働活動推進員 等

委員は学校運営のパートナー。OK（分かりました）ではなくLet's（一緒にやりましょう）という姿勢が大切です。



- 説明
- 承認
- 説明
- 意見

校長等

- 学校運営の基本方針
- 学校運営・教育活動

- ◆学校運営協議会には、次の三つの役割があります。
- 校長が作成する学校運営の**基本方針**を承認する。
- 学校運営**について、教育委員会又は校長に**意見を述べる**ことができる。
- 教職員の任用**に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に**意見を述べる**ことができる。

委員として
参画

人材・活動等の
コーディネート

地域学校協働活動推進員
(地域コーディネーター)

学校と地域をつなぐコーディネーターの役割を担います。

地域連携担当教職員

地域連携の学校の窓口となります。

地域学校協働活動

地域学校協働本部

「地域学校協働本部」とは、幅広い地域住民や団体等の参画により形成された緩やかなネットワークのこと。地域の実情に合わせ、地域学校協働活動推進員を中心とした多様なメンバーで構成します。

目標やビジョンを学校と共有
(育てたい子供の姿、目指す学校や地域の姿)



※協働とは、同じ目的・目標に向かって、対等の立場で協力して共に働くこと

学校運営協議会ではどんな協議をするの？

※ 吹き出しは、地域学校協働活動についての協議「学校と地域が一緒になってできることは何だろう」を例に表しています。

子供たちや学校、地域が抱える課題とともに、どのような子供を育てたいのか、どんな学校や地域にしていきたいのかという**目標・ビジョンを共有**します。そして、その実現のために、学校運営や必要な支援について協議します。そのための話し合いを「**熟議**（「熟慮」と「議論」によって課題解決を目指す対話）」と言います。

学校と地域が一緒になってできることは何だろう？【例】

地域イベントで子供たちの活躍の場をつくりましょう。

学校祭に地域のブースも出展しよう。

授業に地域の方が加わると、手厚い支援が可能になるはず。

<協議内容（例）>

- ・学校運営の基本方針について
- ・次年度の教職員の任用について
- ・地域学校協働活動について
- ・学校評価について 等

<熟議のテーマ（例）>

- ・どんな子供に育ててほしいか
- ・下校時の安全をどう確保するか
- ・携帯電話の取扱いについて
- ・地域の力を子供たちの教育にどう生かすか
- ・子供たちの学力を向上させるためには
- ・郷土学習で子供たちに何を伝えるか 等

僕たちも、学校づくりやまちづくりに参加しよう。

授業や行事で地域の方に支援や参加をお願いしたいことを洗い出してみよう。

先生たちのニーズをまとめ、推進員さんに伝えよう。

・学校のニーズを本部に伝え、ボランティアを集めよう。
・地域のニーズも集約して学校に伝えよう。

地域学校協働本部（ネットワーク）

野菜の栽培について教えてあげたいな。

ボランティアに応募して学習支援に参加しよう。

イベントの計画を子供たちと一緒に立ててみよう。

子供たちの声を学校運営に生かすため、子供たちが熟議に参加している学校もあります。

地域連携担当教職員を中心に、日頃から地域学校協働活動推進員と情報交換をすることが大切です。

地域学校協働活動の企画・立案、関係者との連絡調整、地域ボランティアの募集・確保等を行います。


できるときに、できる形で地域学校協働活動に参画します。

地域学校協働活動として具体的にどんな活動が行われているの？ ～県内の学校・市町村の取組より～

学校運営協議会で決まったことを基に、学校と地域が連携・協働して地域学校協働活動を展開します。具体的にどのような活動があるか、愛知県内の取組を紹介します。


地元と連携した探究学習（県立足助高等学校）

観光ビジネスコースでは、地元の観光資源を生かし、地域課題の解決と地域の活性化に向けて探究活動を進めています。観光庁、青年会議所、豊田市役所足助支所等の方から指導・助言をいただいたり、企業からの支援を受けたりして、「まちやどスクール」で着物カフェを開催したり、鹿肉カレーの開発・販売に取り組んだりしました。地域の方の協力により、体験的な学びが充実しています。




プリントの丸付け「ねこ丸隊」（瀬戸市）

長根小学校では、始業前の10分間、漢字や算数のプリントに子供たちが取り組み、その丸付けを「ねこ丸隊」と名付けた地域の方々が行っています。週一回行われる「ねこ丸隊」の日になると、待ちわびた子供たちは、「ねこ丸隊が来る！」と笑顔で地域の方を迎えています。地域の方に丸をつけてもらい、褒めてもらうことは、子供たちの喜びと学習意欲につながっています。




コミュニティークラブ（東浦町）

緒川小学校では、「おがわっ子ENJOYクラブ」として4年生から6年生を対象に年7回実施しています。放課後の子供たちの居場所として学校運営協議会主体で実施しています。地域の方を講師とした講座を開催し、剣道や少林寺拳法、編み物等の体験活動に取り組んでいます。子供たちにとって地域の方々とふれあえる楽しい時間となっており、地域の方にとってもやりがいにつながっています。



ドリームの会（田原市）

「ドリームの会」は、田原市立福江中学校の生徒でつくられているボランティアクラブです。100名程が在籍し、地域からの要望に応じて休日にボランティア活動を行っています。海岸清掃、福祉施設での手伝い、校区の清掃活動、ミニコンサートの運営補助等、活動内容は多岐にわたっています。ボランティアの心を育てるとともに、子供たちが地域の方々と交流を深めるよい機会にもなっています。



導入に向けて教育委員会や学校は何をすればよいの？

コミュニティ・スクールの導入・推進に向けた教育委員会のスケジュール（例）

導入前

導入1年目

導入2年目

・教育振興計画・

- 自治体の施策への位置づけ
- 予算措置
- 先進校の視察
- コンサルタント派遣の活用
- 学校運営協議会規則の制定
- 学校運営協議会委員の選定
- 地域学校協働活動推進員の選定

・管理職・教職員の研修

- 家庭・地域への周知・啓発
- ボランティアの募集

・熟議の実施

- 家庭・地域への活動協力の呼びかけ
- 研修の実施

豊富な知識と実践をもった専門家（コンサルタント）を愛知県教育委員会が派遣します。導入に向けたアドバイスを受けられます。（導入後の活用も可）

研修の場として、県あいちの学び推進課が主催する「地域コーディネーター等研修会」「地域とともにある学校づくり愛知フォーラム・研修会」を御活用ください。

コミュニティ・スクールの導入に向けた学校の準備（例）

教職員に

- 導入の意義・目的の周知
- 校務分掌との関連づけ
- 授業や学校行事における地域との関わりの検討

家庭・地域に

- 導入の意義・目的の周知
- 参加・協力依頼
- PTA活動との関連づけ
- 地域学校協働本部との連携

組織づくり

- 学校運営協議会委員の人選
- 地域学校協働活動推進員の選定、連絡調整
- 年間計画の作成

共通の目標の設定に向けて、学校と地域でビジョンや課題を共有する。
- どの子供を育てたいか どの学校にしたいか どの地域にしたいか -

どんなメリットがあるの？

- 子供たちの学びや体験活動が充実します。
- 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。

子供



- 地域の中で子供たちが育てられているという安心感があります。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。

保護者



- 地域人材を活用した教育活動が充実します。
- 授業等への地域の支援により、子供と向き合う時間の確保につながります。

教職員



- 経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながります。
- 地域のネットワークが形成され、地域の課題解決につながります。

地域



〈教職員の声：豊田市〉 ※豊田市では「共働」と表記します。

地域学校共働本部地域コーディネーターの皆さんが数十名の講師との連絡調整や、行事当日のサポートを行ってくださるおかげで、生徒が多様な大人の生き方に触れ、自分の生き方や職業観を探る貴重な機会となっています。また、英検・数検・漢検の運営事務を行ったり、地域の方を募って面接練習を行ってくださったりと、生徒は地域学校共働本部と地域の方々のおかげで豊かに学ぶとともに、教職員の負担軽減にもつながっています。

〈地域学校協働活動推進員の声：みよし市〉

推進員になって3年。はじめは不安でしたが、先生方や地域の方の協力を得て、務めることができています。活動に参加して下さる地域の方々次第に増え、学校と地域の距離がどんどん近くなっていることを実感しています。子供の笑顔や、学ぶ姿を間近に感じられるのはもちろん、地域の方が「楽しかった。また参加します！」と言ってくれることがうれしいです。私にとって新たな学びであり、やりがいになっています。

地域の未来を担う子供たちに、どのように育ててほしいですか。

これから自分たちの学校や地域を、どのようにしていきたいですか。

学校と地域が目標やビジョンを共有し、連携・協働することで、子供たちが笑顔になります。

そして、子供たちに関わる大人たちも笑顔になります。

子供たちを真ん中に、一緒にコミュニティ・スクールや地域学校協働活動を進めていきましょう。

参考資料URL：「学校と地域でつくる学びの未来」 <https://manabi-mirai.mext.go.jp/>

問合せ先：愛知県教育委員会あいちの学び推進課 家庭教育・地域連携支援グループ（TEL 052-954-6780）



集まれ！地域のチカラ 輝け！学校のミライ コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を推進します

子供は「家庭の宝」「学校の宝」「地域の宝」です。時代の変化に伴い、学校と地域の在り方が変化する中、子供たちを地域全体で支え育むため、愛知県では「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」を推進しています。子供たちの未来、学校の未来、地域の未来のため、学校・家庭・地域みんなで力を合わせましょう。

〈なぜコミュニティ・スクールと地域学校協働活動を推進しているのか〉

学校の役割が拡大し、先生の仕事も増えてきている…

いじめ、不登校、貧困等、学校には難しい課題がいっぱい…

変化の激しい社会の中で、子供たちに生きる力を身につけさせなければ…

子ども会等がなくなり、地域のつながりがなくなってきている…

学校だけでは解決できない
地域だけでは解決できない

学校と地域が
力を合わせる必要があります

そのための具体的な取組として

コミュニティ・スクール

地域学校協働活動



愛知県教育委員会